

○ 山間部特有の洪水時の急激な水位上昇、大量の土砂、流木等により甚大な被害が生じた小本川において、本川における河道掘削や堤防、流木捕捉工等の整備により、平成28年8月台風第10号と同規模の洪水を安全に流すとともに、流域における砂防施設、治山施設、道路嵩上げの整備や避難のためのソフト対策に取り組み、浸水被害の軽減を図る。



「この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の電子地形図 25000 を複製したものである。(承認番号 平 29 情機、第 1061 号)」

- 氾濫をできるだけ防ぐための対策**
- 河川改修(全体事業費 約229億円)【県】
対策内容)河道掘削、堤防・樋門整備、流木捕捉工等
 - 砂防堰堤整備【県】
 - 治山施設等整備【県ほか】

- 被害対象を減少させるための対策**
- 輪中堤整備【県】
 - 宅地嵩上げ【県】
 - 災害危険区域の設定【岩泉町】等

- 被害の軽減・早期復旧・復興のための対策**
- 要配慮者利用施設の避難確保計画【岩泉町・民間】
 >> 策定率100% 避難訓練実施率100%
 >> 民間企業及び自治会による要配慮者支援(災害協定締結)
 - 防災士育成講座開催 防災士となる町民200名超【岩泉町】
 - 洪水・土砂災害ハザードマップの作成【岩泉町・県】
 - 地元連携、防災意識の共有(竣工式の開催等)【岩泉町・県】
 - 道路嵩上げによる災害時の通行確保【県】
 - 水位周知河川指定・運用【岩泉町・県】
 - ホットライン、タイムライン運用【岩泉町・県】
 - 河川情報の充実(危機管理型水位計等設置・活用等)【岩泉町・県】 等

小本川水系 12か所で砂防堰堤を整備中

※H28台風第10号関連工事

堤体ソイルセメント打設中 (R2.12)



南三田貝の沢 (2)

堤体ソイルセメント打設中 (R2.12)



松橋川

松橋の沢 (6)

岩泉町役場

小本川

道の駅いわいずみ

本銅口の沢

下町の沢 (2)

本町の沢

大川

大沢 (11)

大沢 (6)

大沢

大沢 (7)

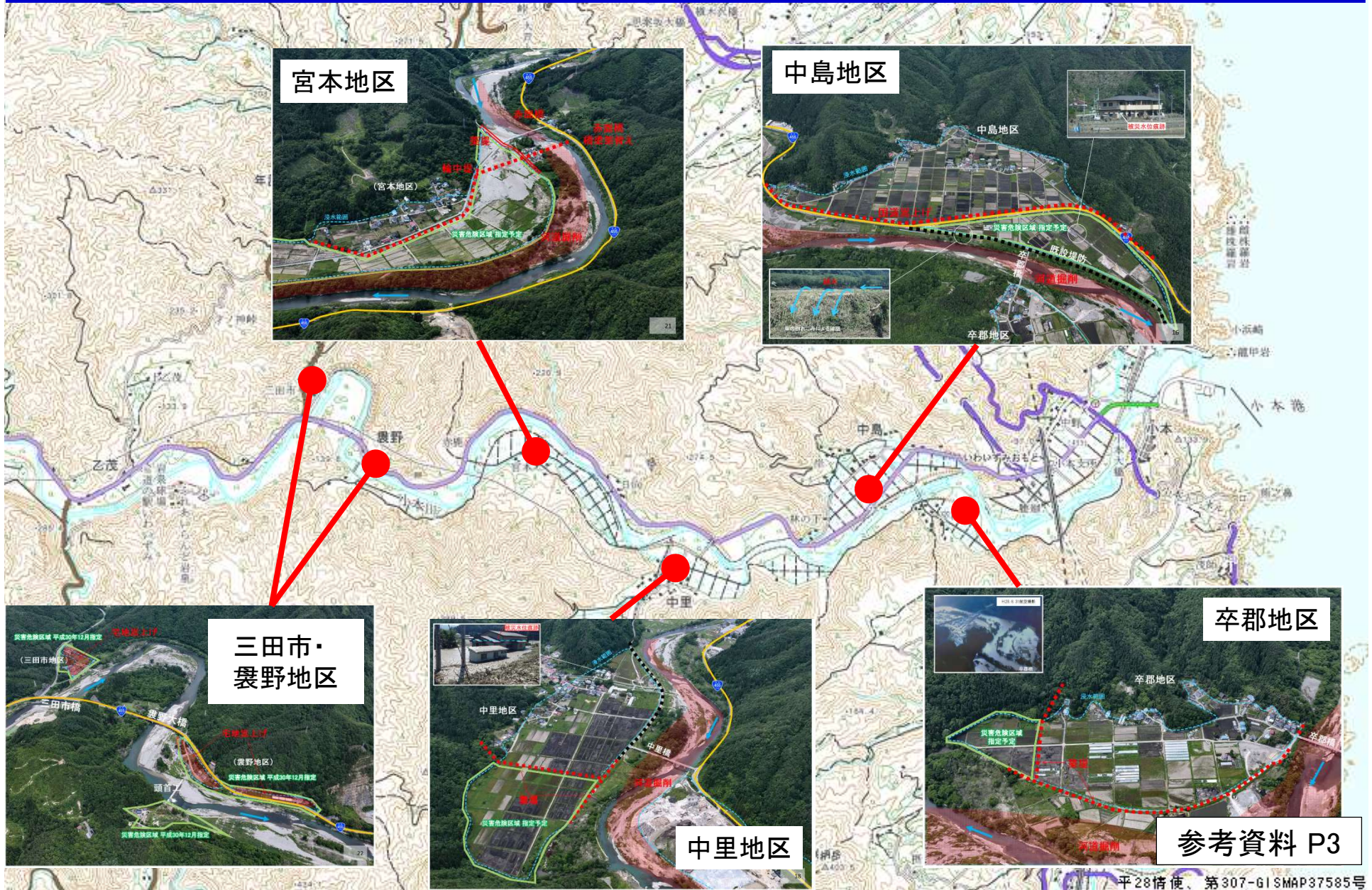
大沢 (2)

堤体ソイルセメント打設完了 (R2.12)



大沢 (8)

参考資料 P2



二級河川
流域治水プロジェクト

小本川水系流域治水プロジェクト

【参考資料④】

[水位周知河川 指定・運用]

〔現状〕 (R2.12月末現在)
指定数 **40河川 49区間**

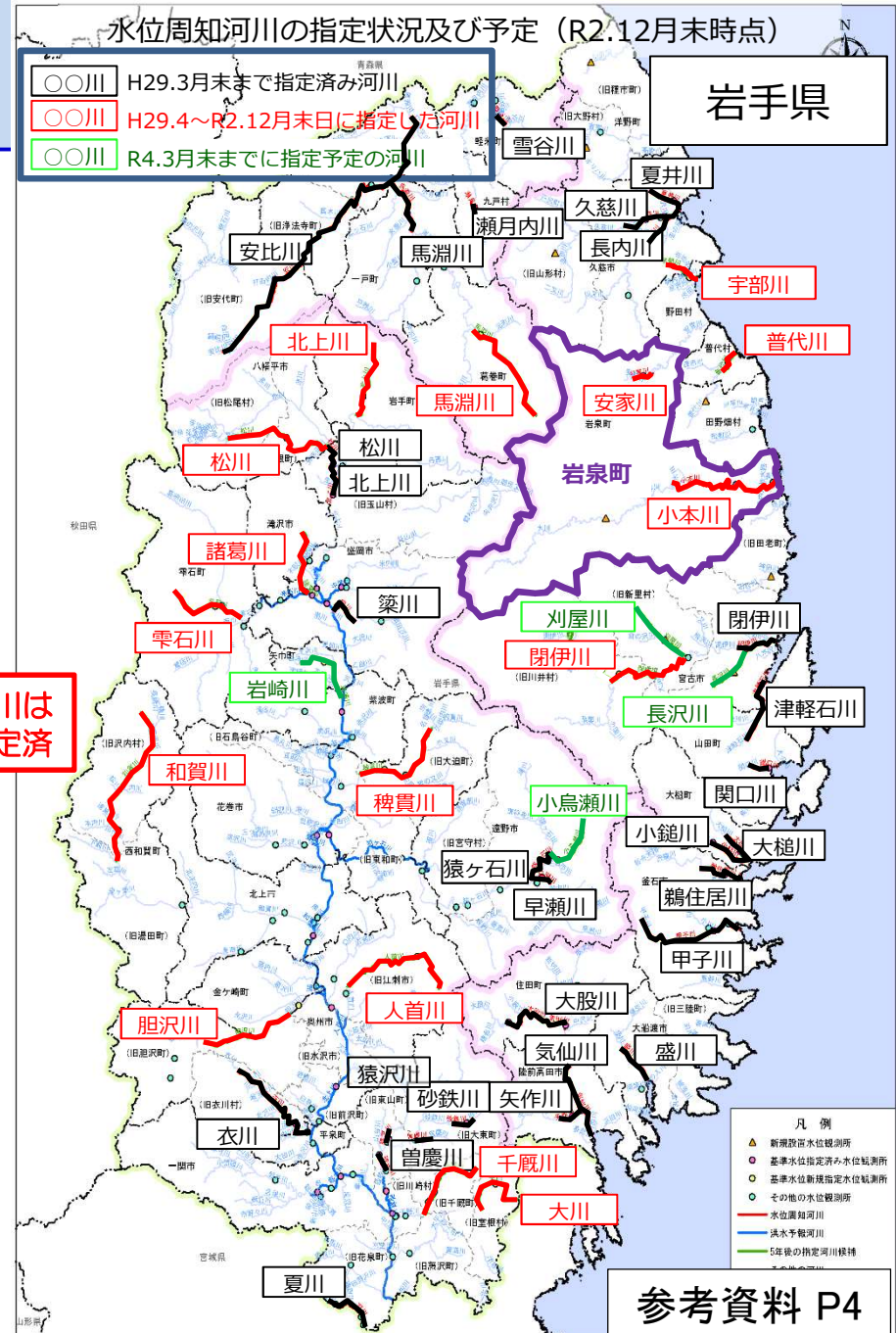
〔基本方針〕

- ① 5カ年で44河川の指定
- ② 県内の防災拠点や資産集中区域をカバーするため、未指定の市町村（旧市町村）の河川を指定
- ③ 平成28年台風第10号で甚大な浸水被害を受けた河川
- ④ 近年の洪水実績のある河川

指定状況 (R2.12月末時点)

H29.3月末までに指定済	28河川	32区間 (馬淵川、安比川含む)																
H29.4月～R2.7月末までに指定済	12河川	<table border="0"> <tr> <td>小本川 (岩泉町)</td> <td>安家川 (岩泉町)</td> </tr> <tr> <td>稗貫川 (花巻市)</td> <td>松川 (八幡平市)</td> </tr> <tr> <td>胆沢川 (奥州市)</td> <td>雫石川 (雫石町)</td> </tr> <tr> <td>馬淵川 (葛巻町)</td> <td>北上川 (岩手町)</td> </tr> <tr> <td>和賀川 (西和賀町)</td> <td>閉伊川 (宮古市)</td> </tr> <tr> <td>普代川 (普代村)</td> <td>宇部川 (野田村、久慈市)</td> </tr> <tr> <td>人首川 (奥州市)</td> <td>諸葛川 (滝沢市、盛岡市)</td> </tr> <tr> <td>千厩川 (一関市)</td> <td>大川 (一関市)</td> </tr> </table>	小本川 (岩泉町)	安家川 (岩泉町)	稗貫川 (花巻市)	松川 (八幡平市)	胆沢川 (奥州市)	雫石川 (雫石町)	馬淵川 (葛巻町)	北上川 (岩手町)	和賀川 (西和賀町)	閉伊川 (宮古市)	普代川 (普代村)	宇部川 (野田村、久慈市)	人首川 (奥州市)	諸葛川 (滝沢市、盛岡市)	千厩川 (一関市)	大川 (一関市)
小本川 (岩泉町)	安家川 (岩泉町)																	
稗貫川 (花巻市)	松川 (八幡平市)																	
胆沢川 (奥州市)	雫石川 (雫石町)																	
馬淵川 (葛巻町)	北上川 (岩手町)																	
和賀川 (西和賀町)	閉伊川 (宮古市)																	
普代川 (普代村)	宇部川 (野田村、久慈市)																	
人首川 (奥州市)	諸葛川 (滝沢市、盛岡市)																	
千厩川 (一関市)	大川 (一関市)																	
R4.3月末までに指定予定	4河川	<table border="0"> <tr> <td>刈屋川 (宮古市)</td> <td>岩崎川 (紫波町、矢巾町)</td> </tr> <tr> <td>長沢川 (宮古市)</td> <td>小烏瀬川 (遠野市)</td> </tr> </table>	刈屋川 (宮古市)	岩崎川 (紫波町、矢巾町)	長沢川 (宮古市)	小烏瀬川 (遠野市)												
刈屋川 (宮古市)	岩崎川 (紫波町、矢巾町)																	
長沢川 (宮古市)	小烏瀬川 (遠野市)																	
合計	44河川																	

小本川、安家川は
H29.5.26指定済



参考資料 P4

二級河川
流域治水プロジェクト

小本川水系流域治水プロジェクト 【参考資料⑤】
[ホットライン・タイムライン]

岩手県

ホットライン

フロー図

岩手県：平成29年6月から水位周知河川で運用開始

水位周知河川において避難判断水位を超過するおそれがある場合

ホットライン実施（確実な情報提供）

水位到達情報等の河川情報を電話連絡

伝達者
(県：河川管理者)



受達者
(市町村長等)

再確認、質問等

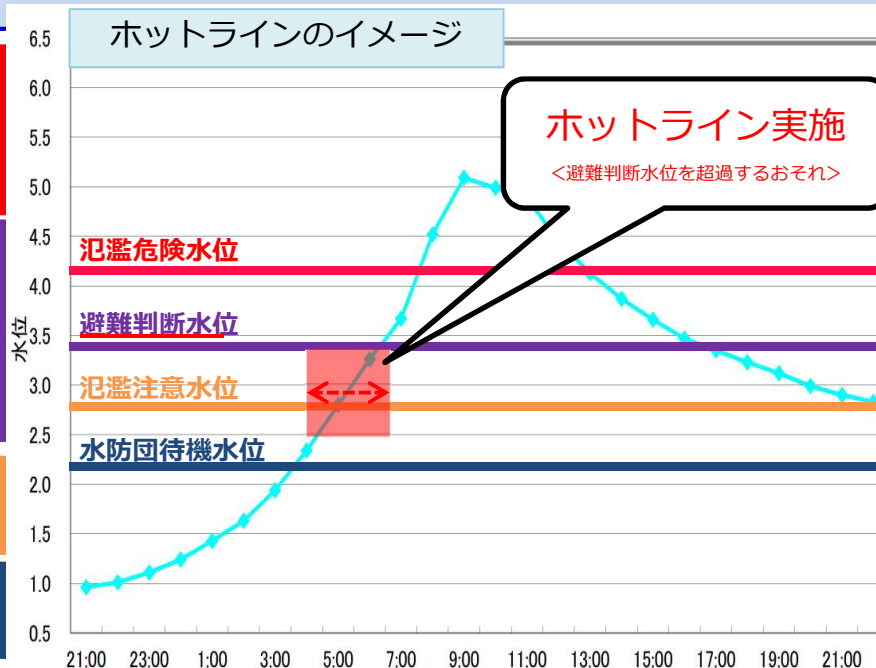
R2年度は岩泉町において、これまでに4回
ホットラインを実施
(岩泉土木センター副所長→岩泉町長)

氾濫危険水位
・市町村長の避難勧告等の発令判断の目安
・住民の避難開始の目安

避難判断水位
・市町村長の避難準備・高齢者等避難開始の発令判断の目安
・災害時要配慮者の早期避難開始の目安

氾濫注意水位
・水防団の出動の目安

水防団待機水位
・水防団の待機の目安



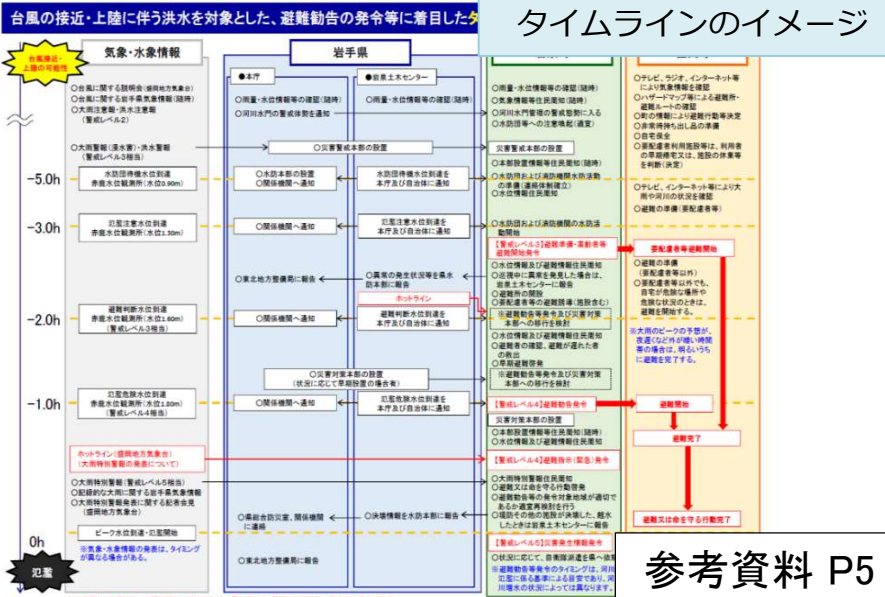
タイムライン

岩手県：平成29年8月から運用開始

タイムラインを活用し、関係者が迅速な防災行動をとることで、被害の最小化が期待されることから、早期導入を図る。

県では、全ての水位周知河川において、市町村と連携、タイムラインの作成を支援し、早期導入を促進。

岩泉町では、R2.3月にタイムラインを作成、運用開始



参考資料 P5

二級河川
流域治水プロジェクト

小本川水系流域治水プロジェクト【参考資料⑥】

[河川情報の充実]

岩手県

危機管理型水位計

岩泉町内には、
通常型3箇所、危機管理型5箇所設置

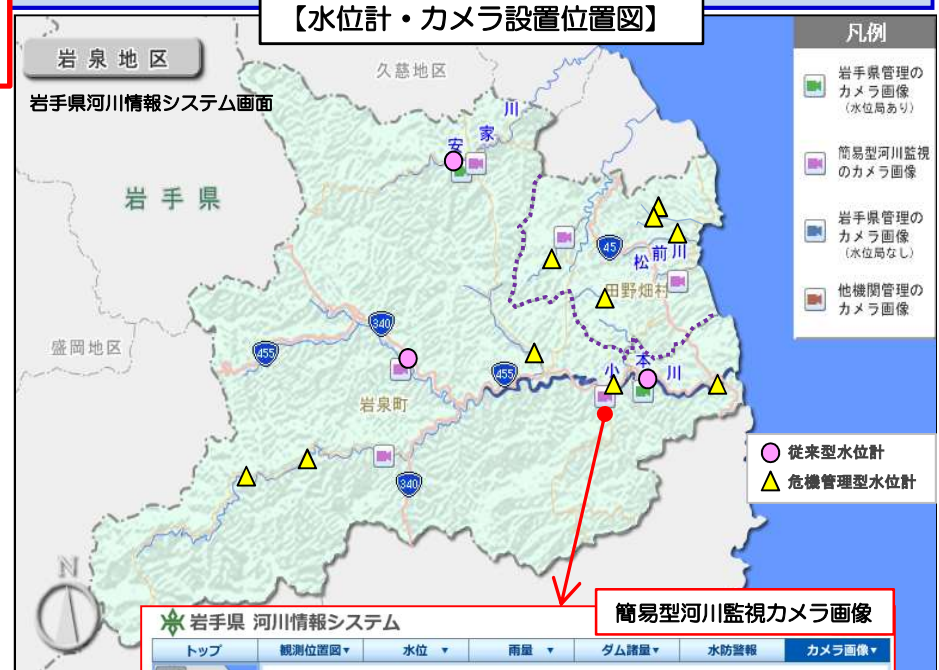
岩手県：令和元年5月から運用開始

通常型水位計に加え、危機管理型水位計の設置により、**水位観測体制が大幅に強化され、住民の迅速な避難行動につながる**ことが期待される。

【設置箇所数】 (令和2年12月末時点)

	河川数	箇所数
通常型(※1)	73 河川	134 箇所
危機管理型	260 河川	325 箇所
合計(※2)	278 河川	459 箇所

※1 岩手県河川情報システムで公開している数で、他管理者設置分を含む。
※2 河川数については、重複する河川があるため、合計が一致しない。



簡易型河川監視カメラ

岩泉町内には、
従来型2箇所、簡易型4箇所設置

岩手県：令和2年6月から運用開始

簡易型監視カメラの設置により、カメラ設置箇所が大幅に増加し、**リアリティーのある洪水状況を提供**ことができ、**住民の迅速な避難行動**につながることを期待される。

【設置箇所数】 (令和2年12月末時点)

	河川数	箇所数
従来型	30 河川	34 箇所
簡易型	68 河川	114 箇所
合計(※)	69 河川	148 箇所

※河川数については、重複する河川があるため、合計が一致しない。



岩手県 河川情報システム

簡易型河川監視カメラ画像

所在地 岩泉町乙茂

観測時刻: 2020年08月25日 15時00分

撮影日時: 2020/08/25 15:40:06

2020/08/25 15:40:06

ふれあい橋

水位[m] 現在の水位は、0.49 mです。

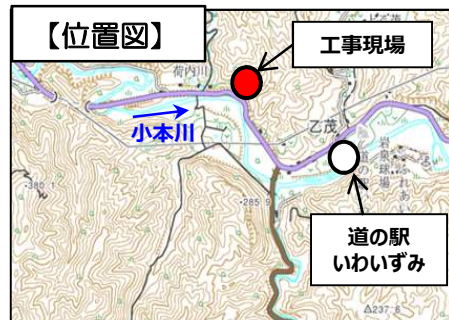
参考水位情報:

- 堤防高: 4.870(m)
- 氾濫危険水位: 1.80(m)
- 避難判断水位: 1.60(m)
- 氾濫注意水位: 1.30(m)

参考資料 P6

上乙茂の沢(4)筋 上地区砂防堰堤工事 竣工式の開催

※新型コロナウイルス感染症対策を行ったうえで開催したものの



平成28年台風第10号災害で土石流被害があった乙茂字上地区で、地元建設業の小野新建設(株)が施工していた砂防堰堤工事が無事に完成し、令和2年7月14日(火)に、地権者、町立岩泉中学校の生徒など地元の関係者の方々約50名をお招きして竣工式を開催しました。

【竣工式開催状況（主なもの）】



- ・ 岩泉町役場佐々木危機管理監から、4年前のH28台風第10号災害のふりかえりがあり、あの惨事を2度と繰り返さないための備えが必要とのお話がありました。
- ・ 県岩泉土木センターの職員が講師となり、「砂防堰堤の役割」や「早期避難の重要性」などについて説明しました。
- ・ 参加していただいた岩泉中学校の生徒から、次のようなあいさつをいただきました。

【岩泉中学校生徒代表あいさつ（主旨）】

- ・ 砂防ダムは、豪雨などの土砂災害を防ぐため、私たちの大事な命を守るために重要な役割を果たすものであることを学んだ。また、素早い避難が重要だと学んだ。
- ・ 台風第10号は、とてもつらく悲しい出来事であり、この記憶を忘れず、これからの災害に備えたいと思う。